

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間を認め合い、絆を深めながら楽しく学べる学校 ・ 家庭や地域と連携し、豊かな体験を通して児童生徒一人一人が自ら学べる学校 ・ 共生社会の実現を目指し、地域のセンターとしての役割を果たす学校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒が、主体的に学習に取り組む力を育む専門性の高い授業の実践 2 保護者、地域に信頼される開かれた学校づくりの推進 3 児童生徒が安心して学校生活を送るための学習環境及び施設設備の充実
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者 学校関係者 名
生徒 名
事務局(教職員) 名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価	
年度目標					年度評価（月日現在）			実施日 令和年月日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p>○ICT 機器の活用を進めている。教職員の更なる活用能力の向上に向け、校内での研修や実践例等を共有し、児童生徒が主体的に学習に取り組める実践となるよう学習の質をより高めていく必要がある。</p> <p>○「個別の教育支援プラン」については、個々実態を把握し、保護者とともに作成することができている。更にきめ細やかな実践・手立てに基づいた評価を実施していく必要がある。</p> <p>○外部専門家と連携し、教員の資質向上につなげている。担任や当該学部だけではなく、学部を越えて障害特性に応じた指導について助言が受けられるように更に指導の充実を図る必要がある。また、自立活動では、実践の積み上げていく必要がある。</p>	○児童生徒が主体的な学習に取り組める指導を展開し、評価する。	<p>①ICT機器を活用した授業実践を共有できるようにし、個々の障害特性に合わせた指導を進める。</p> <p>②校内で個別の教育支援プラン作成方法の周知、計画的な教育プランに基づいての実践を進め、年間2回の評価を行う。</p> <p>③外部専門家の指導助言を校内で共通認識できるシステムを構築するとともに、自立活動専任が授業に関わることでより障害特性にあった実践を進める。</p>	<p>①個々の障害特性に合わせた指導力向上に向けて、ICT 機器の活用について校内研修を実施し、活用の幅を広げることができたか。</p> <p>②年間指導計画では、学級、学習担当内で目標、手立ての共通理解のもと作成するとともに、評価についても担当者が複数人で確認し手立てに基づいた評価を行うことができたか。</p> <p>③外部専門家、特別非常勤講師の助言を教職員が共通で知ることができたか。また、自立活動専任の活用を効果的に行うことができたか。</p>					
2	<p>○新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、以前のような教育活動に戻つつある。本校の実態に合った教育活動の更新充実が必要である。</p> <p>○学校運営協議会（コミュニティスクール）についての導入の共通理解を行った。今後、運営や活動について、教職員で共通理解のもと進めていく。</p>	○保護者や地域から信頼される開かれた学校を目指す。	<p>①感染拡大防止ガイドラインに沿った教育活動を実施し、参観や公開等の内容を検討し進める。</p> <p>②本校の教育活動の理解を進め発信するとともに、地域との繋がりを深めてゆく。</p>	<p>①保護者会や参観等ホームページ等を活用し地域へ発信することができたか。</p> <p>②年間2回の運営協議会を実施する中で、活動内容の検討をすると共に、教職員と情報の共有を図り進められたか。</p>					
3	<p>○増築棟の工事期間が年度途中までとなり、昨年度に続き活動場所等の制限があるため、引き続き、柔軟な取り組みと工夫、安全面の配慮が必要である。また、増築棟完成後には、新校舎での教育活動の開始に伴い、教室移動等を行い整理しつつ環境を整える必要がある。</p> <p>○ストレスチェックにおける結果からも、職場環境はおおむね良好である。引き続き風通しのよい職場の環境づくりを推進するとともに、不祥事防止研修プログラムを活用し、当事者意識を持てる研修を行い、事故防止の意識を高める。</p>	○安心・安全な学習環境づくりの推進	<p>①新校舎完成に伴う、教室移動等では、児童生徒の安全、安心を意識した整理や働きやすい職場づくりの一環とした校内美化を進める。</p> <p>②教職員が健康で働ける環境づくりを進めるとともに、不祥事防止研修マニュアルや県政ニュース等を活用し、月1回のN字研修を実施する。</p>	<p>①新校舎への移動等、詳細な教育計画を策定し実施し環境を整え、安心・安全な教育活動に取り組むことができたか。</p> <p>②教職員がチームとして仕事に取り組み、健康で働ける環境づくりができたか。また、不祥事防止につなげることができたか。</p>					